

あなたの「得意」が地域の **未来** ～地域での支え合いの大切さや楽しさを知ろう～

第1部 パネルディスカッション(約90分間)

**地域での支え合いを進めるために
必要なことは？**

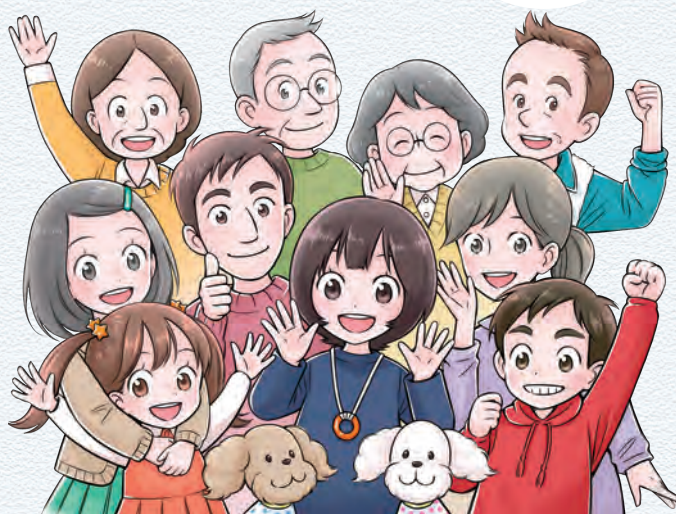
超高齢社会の到来により、より一層地域での支え合いが求められています。地域での支え合いは、誰もが元気に活躍できる基盤づくりにつながります。そこで、支え合いを進めるためには何が必要か、支え合い活動の実践者からお話を聞き、意見交換を行って考えます。

休憩
約15分間

第2部 参加者による意見交換(約45分間)

**地域で始めてみたいコトを
考えてみよう！**

参加者の皆さんでグループに分かれて、ご自身の得意なこと等から、地域で始めてみたいコトを考えるグループワークを行います。地域で活動するきっかけを見つけてみませんか？



■ファシリテーター（進行）

・後藤 純氏（東海大学 建築都市学部 特任准教授）



■パネリスト（五十音順）

- ・秋元 晴代氏（渡田地区民生委員児童委員協議会 会長）
- ・根岸 哲也氏（高石町会 副会長）
- ・山本 美賢氏（株式会社ノクチ基地 代表取締役）



第1部のみ
オンラインでも
開催
参加無料

日時 令和5年11月19日(日)
午後2時～午後4時30分(開場 午後1時30分)
開催方法 会場：川崎市役所本庁舎2階ホール(川崎区宮本町1番地)
オンライン：Zoomウェビナー使用(第1部のみ)
募集定員 会場：70名
オンライン：100名
(いずれも申込先着順)

※参加条件：川崎市在住の方

申込方法は裏面をご参照ください。

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



ファシリテーター・パネリスト紹介

■ファシリテーター（進行）

後藤 純 氏（東海大学 建築都市学部 特任准教授）

専門は、都市計画、まちづくり、ジェロントロジー（高齢社会総合研究学）。在宅医療を含む地域包括ケアシステムの構築、超高齢社会に対応した復興まちづくりや郊外住宅地の再生など、分野横断型共同研究に取り組む。

川崎市では、川崎市コミュニティ施策検討有識者会議及び川崎市コミュニティ施策検証有識者会議委員を務めたほか、中原区地域福祉計画推進検討会議委員を務める。



■パネリスト（五十音順）

秋元 晴代 氏（渡田地区民生委員児童委員協議会 会長）

前任者の退任に伴い、平成13年に民生委員児童委員の委嘱を受ける。令和元年に渡田地区民生委員児童委員協議会会長に就任。地域とのつながりの中で、さりげない見守り活動に力を入れ取り組んでいる。

根岸 哲也 氏（高石町会 副会長）

麻生区高石在住22年。出身は京都市。平成7年1月17日発生の阪神淡路大震災に西宮市で被災し、発災直後の共助の重要性を知る。平成29年から高石町会の副会長を務める。町会では防災、ICTの普及に取り組んでいる。

山本 美賢 氏（株式会社ノクチ基地 代表取締役）

平成23年にパークシティ溝の口に入居、理事のほかホームページ委員会編集長を務めた。平成30年、「クリエイティブの地産地消」を旗印に株式会社ノクチ基地を沿線クリエイター仲間と立ち上げ、行政、市内企業の様々な制作物を手がける。



参加申込方法

二次元コードから申込フォームにアクセス、もしくは以下に必要事項を記入し、FAXにて

10月15日(日)午前9時以降に

お申し込みください。



<https://logoform.jp/f/38J8I>

▲申込フォームはこちら



FAX 送信先 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室
地域福祉担当 (044-200-3926)

氏 名	(フリガナ)					
年 代 (該当するものに○)	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
電話番号 (携帯可)						
メールアドレス (オンライン参加の場合は必須)						
住所(町名まで 例：川崎区宮本町)						
参加方法(該当するものに○)	会場	オンライン				
地域での活動経験(例：お祭りの運営、 清掃活動、子育てボランティア等) (該当するものに○)	なし	あり				
このワークショップを知った媒体 (該当するものに○)	市政だより 市 Twitter	市ホームページ その他 (	地ケアポータルサイト	チラシ	)	
このワークショップに関連する イベントの今後のご案内(メール) (該当するものに○)	希望する	希望しない				

※ご記入いただいた個人情報は、参加者の方にご連絡する場合のみ利用します。

※オンラインで参加される方には、後日、招待用 URL を電子メールにてお送りします。

※定員を超えた場合はご連絡します。